

江別市生涯学習推進協議会平成30年度総会を終えて

江別市生涯学習推進協議会
会長 谷川 幸雄

2018年6月12日、まさに平和への祈念すべき日となった。トランプ大統領と北朝鮮の金正恩委員長との対談、史上初の平和の扉が開かれた。

しかし、今日まで合意と破壊の歴史が繰り返されてきた。過去の失敗を繰り返せば、半世紀以上わたって敵対してきた米朝首脳間の直接対話という歴史的意義は失われかねない。やっとなってきた二人の平和の誓いをくずしてはならないと思ふ。そして、世界のすべての人の心の中に平和の誓いを築かなければならないと思ふ。合わせて、拉致被害者やその家族に一日も早い穏やかな時間が来ることを願う。

さて、会員の皆様におかれましては、ご健勝で生きがいのある日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃、本協議会の活動に対してご理解ご支援頂き感謝申し上げます。

今年度の活動の基本方針として次のようなことを考えております。

- ①生涯学習活動の充実・発展に努めたいと思ふ
- ②本協議会は、今年度も一人ひとりが「やりがい」と「生きがい」のあるまちづくりに積極的に参画していただき、このまちに住んでよかった、できればこのまちで一生を終えたいと思える共生のまちづくりに力を入れていきたい。
- ③生涯学習推進のための情報の提供に努めたいと思ふ
- ④市民が自主的、主体的に生涯学習活動を行うために、学習の機会や場の提供に努める
- ⑤講師、指導者などの情報の取



市生涯学習推進協議会

集・伝達に努める。そして、学習の輪を広め、地域活動を積極的に進め、地域社会の結束力を醸成していきたい。

③ 組織活動の改善・充実に努めたいと思ふ

組織活動の運営に当たっては、事務局を教育委員会に置き、市民・行政協働型の生涯学習の運営を推進していき各関係機関(68団体など)との連携を図り、相互に補充し合い、学びの輪を広め地域力の向上に努める。

◎今年度の活動推進に当たっての重点は

- ①会員・地域住民の事業の参加数は、15000〜20000名を目標とする
- ②情報発信の工夫
どんな内容で、どんな範囲に、どんな方法で、どんな機関にと、具体的に計画する。
- ③そんなアイデアをもつて、それをスピーディーに実践・実行する。
- ④益事業も考える。
- ⑤特に、調査・研究事業の改善工夫を図る。

『人生・仕事の成功の方程式』考
え方×熱意×能力』(稲盛和夫著
「生(世)方(よ)」)



第84号



生涯学習推進協議会総会

広報委員会

広報委員長 西懸 昭子

今年度の広報委員会は、年4回の「ららら」の発行で、協議会事業や加盟団体の活動の様子を出来る限り沢山載せたいと考えています。また、小さなスペースですが、新コーナーもスタートいたしました。

68加盟団体の成り立ちや江別の紹介する新コーナー「まなぼろ」です。84号は、当協議会からスタートいたします。楽しみにしていただけましたら幸いです。

同様に4回の発行で伝えきれないイベント情報などは、スピーディーにホームページでお知らせしていきます。

「身近な所に、手軽に、生涯学習の場を紹介して頂ける情報誌」として頂けますよう広報委員会は努力してまいります。

当会へのイベント情報は随時募集しておりますので、日程などお決まりになりましたら、情報をお寄せ下さい。今年度もどうぞご協力宜しくお願いいたします。

総務委員会

総務委員長 齋藤 徹

今年度学びの幅を広め、生きがいや地域力につながるリレー講座と視察研修会の開催を、総務委員全員で取り組んでいきたいと思ふ。

今年のリレー講座を、北海道150年記念を盛り上げる全道各地の取り組み北海道みらい事業の一つに登録いたしました。テーマは、江別の歴史と未来をつなぐ挑戦者たちとし、9月14日〜28日の毎週金曜日午後6時30分から江別市民会館で開催します。各方面の専門家から、江別が誇り大切に生きてきた歴史を未来につなげる取り組みをお話ししていただきます。

また、視察研修につきましては、江別の生涯学習事業の参考になるよう、多くの会員の皆さんの参加を募り、近隣都市の生涯学習事業の取り組みを視察したいと思ふ。

事業委員会

事業委員長 佐藤 ひとみ

昨年に引き続き改選二年目のメンバーで事業委員会を担当致します。事務局や役員メンバーと連携を取って、市民にとってより身近な学びの場となるような協議会の為に、力を尽くしたいと思ふ。

支援事業は、昨年、財政支援の希望が予算をかなり下回ってしましたので、活発な事業を行って頂き、予算を残さず有効に使って市民の皆さんに残すことを望みます。

生涯学習フェスティバルは、野幌公民館の一階をほぼ借り切った規模で3年目となります。少しずつ定着してきていますが、まだまだ発展途上で、より良い形を模索中です。アンケートや反省を踏まえて、市民の方々が体験や発表展示を通して気軽に自分の学びたいことが見つかる場にしていきます。その為に市民の皆さんからのご意見もどうぞお近くの会員までお寄せ下さい。テーマは「やっぴまナビ2018」。よろしくお願ひいたします。

今年度学びの幅を広め、生きがいや地域力につながるリレー講座と視察研修会の開催を、総務委員全員で取り組んでいきたいと思ふ。

平成30年度 生涯学習リレー講座

＜えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座＞

生涯学習に関するテーマで、専門の講師をお招きして全3回の講座を開催します。

今回のテーマは「江別の歴史と未来をつなぐ挑戦者たち」です。どなたでも参加いただけますので、事前にお申込みの上ぜひ気軽にお越しください。



◇主催 江別市生涯学習推進協議会 まんじょうめただし

◇日時

講座1 『「リンゴの唄」作曲家万城目正と母のこと』
9月14日(金) 18:30~20:00
講師：佐々木 孝一 氏 (元 江別市情報図書館館長)

講座2 『楽しい食と酒米作り』
9月21日(金) 18:30~20:00
講師：山本 宏 氏 (江別酒米グループ「すいせい」代表)

講座3 『北海道産小麦の魅力と可能性』
～今、北海道産小麦が本当に面白い！～
9月28日(金) 18:30~20:00
講師：佐久間 良博 氏 (コムギケーション倶楽部 北海道小麦アドバイザー)

◇会場 江別市民会館21号室(江別市高砂町6) 入場無料

◇申込 電話、FAX、Eメールなどで受付。



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

生涯学習フェスティバル

～やっぴまナビ江別2018～

あなたの生涯学習がきっと見つかるはず!

会員の日頃の活動成果を発表し、市民のみなさんに体験していただく場として、生涯学習フェスティバルを開催します。さまざまな体験コーナーや発表から、ぜひあなたの生涯学習を見つけてください!

◇日時 9月2日(日) 13:00~16:00

◇会場 野幌公民館ホールほか(江別市野幌町13-6) 入場無料

◇申込 事前申し込み不要。直接会場へお越しください。

○ステージ発表:よさこい演舞、金管アンサンブルの演奏、など

○体験コーナー:ピザ作り、バルーンアート、3B体操、えべつ育カフェ、ほか

※軽食販売のほか、飲食スペースもあります。

土佐市・江別市交流文化祭

土佐市と江別市は、昭和53年7月15日に友好都市提携を結び、今年で40周年を迎えます。平成2年から続く両市文化交流協会の交流文化祭は、演舞や演奏などを通して文化交流を深めています。

平成27年10月28日に、第10回土佐市・江別市交流文化祭&第3回総合芸術フェスティバルを江別市にて開催し、平成27年10月4日には、第11回土佐市・江別市交流文化祭を土佐市にて開催しました。

そして、友好都市提携40周年の今年も、下記の通り江別市にて交流文化祭を開催いたします。

◆第12回土佐市・江別市交流文化祭&第9回総合芸術フェスティバル
主催/NPO法人江別市文化協会
期日/平成30年9月23日(日)
会場/えぼあホール・大森公民館



これからのイベント

- ◆えべつ手話の会
 - 夏の交流会
日時/2018年8月1日(水)
場所/あおい
 - 研修旅行
日時/2018年9月6日(木)予定
場所/札幌ろう学校
 - 卓球大会
日時/2018年10月4日(木)
場所/福祉センター内
 - ボウリング大会
日時/2018年10月28日(日)
場所/厚別パークボウル
- ◆江別生涯学習インストラクターの会
 - 江別の野菜でいざご膳を作ろう
日時/2018年9月8日(土) 10:00~13:00
場所/野幌公民館 調理室
江別の野菜をたくさん使っておしゃれなご膳を作りましょう。
 - 「江別の歴史入門編」
日時/2018年9月29日(土) 10:00~11:30
場所/野幌公民館 研修室5号
参加料/500円
江別のなりたちをシリーズで学びます。今年が入門!!
 - 自分のファミリーヒストリーを作ろう!
日時/2018年10月20日(土) 10:00~11:30
場所/野幌公民館 視聴覚室
参加料/500円
昨年に続いての講座。あなたのルーツをさがすための講座です。
- ◆江別短歌会
 - 江別市民文化際短歌大会
日時/2018年10月20日(土)
場所/野幌公民館
講演会:講師 藤谷 怠民愚 氏
- ◆おはなしなあに
 - ちびっこしよまつり
日時/2018年9月29日(土) 10:30~11:30
場所/大森公民館 研修室2号
- ◆子ども文化ネットワーク・江別
 - こねっと おはなし会
日時/2018年10月20日(土) 10:30~11:30
場所/旧町村農場
絵本の読み聞かせ、パネルシアター、工作など。



午後からは、もう一組の特別出演、全国大会に出場した江別太小学校合唱団の素晴らしいコーラスに始まり、日本舞踊、剣詩舞、賑やかな江別女性協会の披露も披露されました。素敵

特別出演の山口太鼓流北海道若衆太鼓の勇壮な太鼓が一気にあまつりムードが高まります。あまつりムードが高まります。あまつりムードが高まります。あまつりムードが高まります。

カラオケや「となりのトトロ」などおなじみの曲のバンド演奏で楽しい時間が過ぎていき、午前の最後は美しいコーラスで終了。ホワイエでの昼食も出演者と観客の交流がとて楽しそうでした。

フラダンス、中国武術、えべつ観光大使の「えべつお、仮装も楽しいカラオケ、躍動感あふれる子ども達のヒップホップダンス、最後は雰囲気たっぷりのジャズ演奏で幕を閉じました。

「歌って踊って和になつて」のテーマの通り、出演、観客、そして裏方としてお手伝いいただいた方、全ての人の心が和になつて素晴らしい時間を共有することが出来ました。ありがとうございました。



第40回えべつ女性協まつり

えべつ未来コミュニティ

えべつ未来コミュニティは、平成26年度から始まったえべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)に合わせ、旧連協SNSをバージョンアップし、市民活動団体情報も発信出来るよう整備する計画がスタート。その総称を「えべつ未来コミュニティ」といいます。

えべつ未来コミュニティは、市民に有益な情報を市民自らの手により発信する事を目的としています。現在運用されている主な「コミュニティ」のひとつに、自連協(<https://jichikai.ebetsu.org/>)があります。

江別市内166自治会のスペースが用意され、各自治会自らの情報発信が可能です。又、自治会に配布される回覧等も見ることが出来る。コミュニティの活用によって若年層の取り込みなど、自治会活動の活性化につながればと期待しています。

その他「コミュニティ(文化・生涯学習・市民活動等)」も、只今システム再構築中ですが、随時公開して行きます。
【総合管理者 佐藤 誠一】
<https://www.ebetsu.org/>
0801-60811-41806

今回の手話

「アトラクション」
「余興」



立てた
両手人差し指を
顔の両脇で回す

《編集後記》
本号より「まなぼう」が始まりました。「えべつ」に関する、知識やちよつとしたお話しなど軽いタッチの情報提供コーナーです。これを読むと豆知識が手に入りますよ。「えべつ」ってなんだあ知らなかった。なるほどなるほど、ちよつと誰かに教えよう。なんてことになるかも...
ご期待です。
中村 康治

まなぼう Vol.1

今回は、生涯学習推進協議会の歴史をちよつと。今から23年前平成7年、81団体で設立。学習講座、推進研修会、学習ガイドブック発行、などなど種々の活動を推進。そして、本誌「ら・ら・ら」は84号目となりました。当初の目的は「市民主体性を重んじ、市民の豊かな生活と生きがいを高める」現在もこの理念を全うすべく活動を推進しています。《まなぼう》をこれからもよろしく